

北海道千歳リハビリテーション大学における 公的研究費の使用に関する基本方針

大学における学術研究は、社会からの信頼と負託によって支えられている。公的研究費(※1)の不正使用は、その信頼と負託を大きく損なうものであり、それを起こした者が所属する機関だけではなく、我が国全体の学術研究の発展をも阻害しかねない。

このことを踏まえ、本学は、学術研究の信頼性と公正性を担保し、学術研究業務に対する国民の信頼を確保するため、次のとおり公的研究費の使用に関する基本方針（行動規範）を定める。

本学の教職員等(※2)は、これを誠実に実行しなければならない。

1. 教職員等は、公的研究費が大学の管理する公的な資金であることを認識し、公正かつ効率的に使用しなければならない。
2. 教職員等は、公的研究費の使用に当たり、関係する法令・通知及び本学が定める規程等、並びに事務処理手続き及び使用ルールを遵守しなければならない。
3. 教職員等は、公的研究費の計画的かつ適正な使用に努めるとともに、研究活動の特性を理解し、効率的かつ適正な事務処理を行わなければならない。
4. 教職員等は、相互の理解と緊密な連携を図り、協力して公的研究費の不正使用を未然に防止するよう努めなければならない。
5. 教職員等は、公的研究費の使用に当たり取引業者との関係において国民の不信や疑惑を招くことのないよう公正に行動しなければならない。
6. 教職員等は、公的研究費の取扱いに関する研修等に積極的に参加し、関係法令等の知識習得、事務処理手続き及び使用ルールの理解に努めなければならない。

(※1) 公的研究費とは、奨学寄附金、補助金、基金、委託費等を財源として本学で扱うすべての経費をいう。

(※2) 教職員等とは、本学の教職員、学部学生、聴講生、科目等履修生その他本学において修学している者及び研究生、受託研究員その他本学において研究に従事している者並びに本学の管理運営に関与することができる者をいう。

平成29年4月10日

最高管理責任者

学 長 森 満